

室田 一雄：「離散凸解析の考えかた」 共立出版の補足と訂正
(2023 年第 3 刷)

誤りを見つけた方は室田までお知らせくだされば有難く存じます。

- 177 頁 13.1 節 6 行目

(Shapley–Shubik, 1972) \implies (Shapley–Shubik, 1971)

- 182 頁 下から 2 行目 (定理 13.5)

有界かつ遺伝的で \implies 有界で

($\mathbf{0}$ を含む M^{\sharp} 凸集合は遺伝的なので「かつ遺伝的」は冗長でした)

- 225 頁 下から 4 行目：

$$f_n(p_n - p_{n-1}, \dots, p_2 - p_1, p_1) = \implies f_n(p_1 - p_2, \dots, p_{n-1} - p_n, p_n) =$$

- 242 頁 文献 [55] Shapley–Shubik

(1972) \implies (1971)

(以上)